

# 石油連盟の事故防止に向けた取り組み状況について

2012年10月  
石油連盟

石油連盟は、製油所でのトラブルが頻繁に発生している状況を踏まえ、事故防止に向けた取り組みを実施している。具体的な内容は以下の通り。

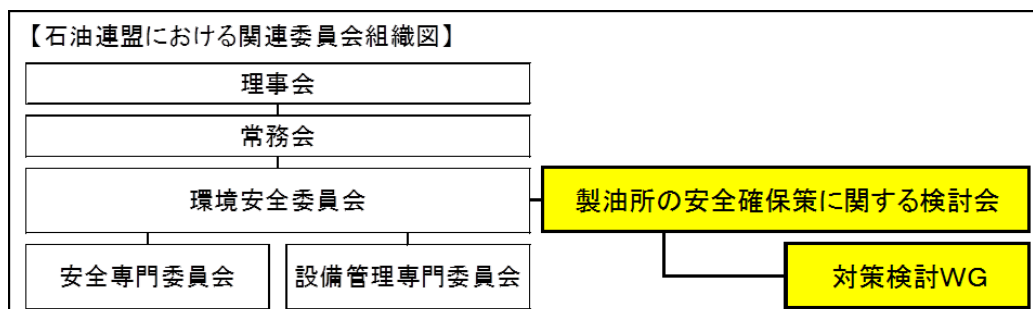
## 1. 日本化学工業協会との連携について

- 日本化学工業協会が設置した「保安事故防止検討会」に対し、業界を越えた情報交換・事故防止への取り組みを行う観点から、石油化学工業協会(※)とともに参加・協力。
- 10月9日、第1回目の検討会が開催され、保安体制等に関する意見交換が実施されている。今後も引き続き事故防止対策に向けて検討が進められる予定。

※石油化学工業協会との間では、2008年9月から事故情報の共有化を図ってきている。

## 2. 【参考】「製油所の安全確保策に関する検討会」の設置（前月報告済）

- (1) 設置日：2012年8月28日
- (2) 議長：石油連盟環境安全委員長（昭和シェル石油 岡田智典常務執行役員）
- (3) 委員構成：石油連盟環境安全委員会、設備管理専門委員会幹事  
有識者（2～3名）（本年末以降より参加予定）  
資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課長（オブザーバー）  
※あわせて下部組織として「対策検討WG」が設置されている
- (4) 検討内容：
  - ① 事故情報の水平展開等これまでの業界の安全確保活動に関して効果を検証する
  - ② 製油所の最近の状況を取りまとめ、課題の抽出と安全確保の考え方をまとめる
  - ③ 課題の検討について今後の方向性を示す
- (5) スケジュール：年度末を目途に検討結果を取りまとめ



以 上